

◆生涯健康サイエンスフェス in 静岡県立大学2025

健康の友だち「腸内細菌」



10/25(土)

話題提供

「腸内細菌と健康に！-腸内細菌の大事な役割-」

講演

「健康の土台をつくる腸内細菌の科学」

高校生研究セッション

県内4大学による特色ある取組の展示

主催：静岡県立大学

協力：静岡大学、浜松医科大学、静岡社会健康医学大学院大学、静岡県教育委員会高校教育課

目 次

◆生涯健康サイエンスフェス in 静岡県立大学2025◆

テーマ／健康の友だち「腸内細菌」

ページ

2	静岡県公立大学法人理事長兼静岡県立大学学長挨拶 今井 康之
3	生涯健康サイエンスフェス運営委員会委員長（静岡県立大学副学長）挨拶 渡邊 順子
4	プログラム
5	話題提供 「腸内細菌と健康に！-腸内細菌の大事な役割-」
9	講演 「健康の土台をつくる腸内細菌の科学」
14	高校生研究セッション
24	コメンテーター
26	県内4大学による特色ある取組の展示
28	主催、協力、協賛団体・企業



「生涯健康サイエンスフェスin静岡県立大学」が3回目の開催を迎え、前身である「静岡健康・長寿学術フォーラム」同様、恒例行事として根付きつつあることを大変嬉しく思います。

今年も、静岡大学、浜松医科大学、静岡社会健康医学大学院大学、及び静岡県教育委員会高校教育課に御協力いただき、無事開催の運びとなりました。皆様方の御協力の心より感謝申し上げます。

静岡県立大学は、「県民の誇りとなる価値ある大学」として、地域社会や国際社会に貢献できる学力と知力を伸ばし、基礎力と応用力を発揮して能動的な活動を実践する人材を育成する教育とともに、独創性豊かで高い学術性を備え、国際的に評価される研究を推進しています。

大学は、「知」を創造・蓄積するだけでなく、大学の「知」を地域に還元すること、多様な人々と、対話によって共有することが、重要な社会貢献だと考えています。

サイエンスフェスでは、学術フォーラムの時代から継続して、県内の高校生が日頃の研究成果を発表しグループで討論を行う、高校生研究セッションを開催しています。毎回活発な討論が行われており、また大学教員や大学生・大学院生からのフィードバックも高校生への良い刺激となっているものと思います。

9月末に開催したプレセッション、「US (University of Shizuoka) フォーラム」では、本学の教員の研究発表を公開し、大学の研究に身近に触れていただくことができました。

今回のサイエンスフェスでは「健康の友だち『腸内細菌』」をメインテーマとし、講演会、高校生研究セッション、4大学の特色ある取組紹介などを行い、本大会を通して、静岡から生涯健康に係る多くの情報を発信いたします。本大会が、誰もが健康で豊かに暮らせる社会を構築する一助になれば幸いです。

生涯健康を考える場として、参加される皆様と有意義な時間が共有できますことを期待しております。

静岡県立大学法人理事長兼静岡県立大学学長

今井康之



生涯健康サイエンスフェスはリニューアル3年目になります。昨年度からメインセッションは大学祭（剣祭）との同時開催になりました。プレセッションとしては、すでに9月30日に一般公開されました。このプレセッションは、2024年度に本学教員が学内競争的資金を獲得した研究助成の成果発表になり、助成件数 318件（うち非公表等があるため要旨集掲載件数は296件）のうち、口頭発表16件、ポスター発表54件が発表され活発な議論が交わされました。これらの研究成果は本学の研究資産のほんの一部です。生涯健康サイエンスフェスのホームページを是非ご覧ください。

さて、今回のメインセッションのテーマ：「健康の友だち『腸内細菌』」は、腸内環境を整える「腸活」に対する様々な疑問を解決し、腸内細菌と真の友だちになるために、必要な知識を改めて学びたいと考えました。本学の腸内細菌研究者である大橋若奈准教授に話題提供をしていただき、2024年度に腸内細菌や腸活の研究で杉田玄白賞を受賞された京都府立医科大学大学院の内藤裕二教授（生体免疫栄養学）に「健康の土台をつくる腸内細菌の科学」と題してご講演していただきます。生涯の健康を維持して、さらに健康な老化をめざすために新たな知見を探りたいと思います。

また、毎回白熱する県内の高校生たちによるフレッシュな研究活動セッションは、昨年を上回る参加チームとなりました。今回は、二又裕之静岡大学教授、杉本 健浜松医科大学教授、八田太一静岡社会健康医学大学院大学講師、細川光洋静岡県立大学教授の4名がコメンテータとなり研究の醸成をサポートします。さらに、上記4大学の特色ある取り組みとして、静岡大学は「グリーン社会の創成を目指して」、浜松医科大学は「浜松医科大学・静岡大学共同研究による消化管内視鏡AIの紹介」、静岡社会健康医学大学院大学は「『知と人材の拠点』から社会を健康に」、静岡県立大学は「国際学生寮『富学寮』の紹介」と「臨場感を生かした薬学教育用VRコンテンツ」について、意欲的なパネル展示もありますので、ご期待ください。

「生涯の健康」について、みなさまと共に楽しく考えられたらと願っています。

生涯健康サイエンスフェス運営委員会委員長
静岡県立大学副学長

渡邊 順子

プログラム

2025年10月25日(土) メインセッション

9:10~9:15

開会式

13411講義室

9:15~9:55

話題提供

13411講義室

演題:「腸内細菌と健康に!-腸内細菌の大事な役割-」

講師:静岡県立大学薬学部 准教授 大橋 若奈

10:00~11:20

講演

13411講義室

演題:「健康の土台をつくる腸内細菌の科学」

講師:京都府立医科大学大学院医学研究科 教授 内藤 裕二

座長:静岡県立大学薬学部 准教授 大橋 若奈

12:00~14:10

高校生研究セッション、県内4大学による特色ある取組の展示

13402講義室

・高校生による研究発表とグループ討論

13403-2会議室

・県内4大学による特色ある取組のポスター展示

13408・13409演習室

13413・13414演習室

14:15~14:20

閉会式

13411講義室

※2025年9月30日(火)開催 プレセッション

静岡県立大学学内競争的資金による研究成果発表

(US [University of Shizuoka] フォーラム)

16件の口頭発表と54件のポスター発表を実施しました。

発表を含めた全ての研究要旨は、ホームページに公開しています。ぜひご覧ください。



話題提供

腸内細菌と健康に！
-腸内細菌の大事な役割-

腸内細菌と健康に！-腸内細菌の大事な役割-

大橋 若奈／静岡県立大学薬学部

私たちの腸管には多種多様な細菌類が定着し、大きな腸内細菌叢を形成しています。腸内細菌叢の構成は一定ではなく、人によって持っている細菌の種類や数が異なります。さらには、年齢や摂取する食事によって腸内細菌叢の構成は動的に変化していきます。近年では、疾患との関わりも知られるようになってきました。例えば、肥満の人では腸内細菌叢の偏りが見られ、肥満の人と健常人の腸内細菌叢を無菌マウスに移植すると肥満の人の腸内細菌叢を移植されたマウスはより体脂肪が増えるといったことから、病的な状態が腸内細菌叢の乱れ（ディスバイオーシス）を引き起こすのみならず、ディスバイオーシスが病的な状態を作り出すことも分かりつつあります。このように腸内細菌

叢が腸を超えて私たちの全身の健康に影響を及ぼす要因の一つとして、腸内細菌代謝物の存在があります。腸内細菌叢は私たちが摂取した食事成分などを分解しビタミンや短鎖脂肪酸といった私たちが作り出すことのできない様々な代謝物を作り出しています。産生された代謝物は私たちの体内に取り込まれ身体中に広がり、体の機能の調節などの役割を担っています。近年では、母体で産生された腸内細菌代謝物が胎盤を超えて胎児へと移行し、胎児の発達や出生後の将来の疾患のかかりやすさにも影響を及ぼしていることが分かってきました。本、話題提供では、最近分かってきた母体の腸内細菌叢と子の健康との関わりについて紹介していきたいと思います。



経歴	2001	京都大学大学院薬学研究科修士課程修了
	2001	理化学研究所 ゲノム科学総合研究センター タンパク質構造機能研究グループ
	2008	理化学研究所 免疫・アレルギー科学総合研究センター サイトカイン制御研究グループ
	2013	富山大学大学院医学薬学研究部（医学）分子医科薬理学講座 助教
	2019	富山大学大学院医学薬学研究部（医学）病理診断学講座 助教
	2020	慶應義塾大学薬学部生化学講座 特任講師
	2023	静岡県立大学薬学部免疫微生物学分野 准教授
受賞歴	2016年	日本分子生物学会 優秀ポスター賞

株式会社テクノサイエンス

計測機器・電子制御機器・医療機器設計製造

光を使用し非接触で測定する計測器、医療機器及び各種電子機器の設計から製造まで、お客様の様々な要求に対応可能です。

◎製品・技術の特徴

-
- 【製品名】 月兎（医療機器）
【使用目的】 電子駆血帯
【説明】 電子駆血帯「月兎」は腕帯を空気で加圧して血管を駆血する装置。
複数の加圧層による独自の技術で血管の怒張を促します。
- 【製品名】 カフスキャッツ（医療機器）
【使用目的】 気管内チューブ用カフインフレーター
【説明】 人口呼吸器使用時の気管内チューブ用カフのエア注入・制御装置。
これまで、シリンジで一定量の空気を送り込むか、手動インフレーターで
注入していたのを簡単操作で適正圧力制御を可能にしました。
-

所在地

〒410-0314 静岡県沼津市一本松 128-2

電話番号 055-966-6000 / FAX 055-967-9093

<http://www.t-science.co.jp>



伝統、そして未来へ

創業明治初年より、だしの専門メーカーとして天然調味料の技術革新を
キーワードに事業展開を続けてまいりました。

マルハチ村松はこれからもおいしさの追求の為、
たえず技術革新を行い、水産物の持つさらなる可能性を探求し、
お客様のお役に立てるご提案をしてまいります。

株式
会社 **マルハチ村松**

本部：静岡県焼津市下江留 1001-1

TEL 054-622-7200 FAX 054-622-4322 <https://www.08m.co.jp>

会場：13411講義室

講演

健康の土台をつくる腸内細菌の科学

座 長

大橋 若奈 / 静岡県立大学薬学部准教授

健康の土台をつくる腸内細菌の科学

内藤 裕二／京都市立医科大学大学院医学研究科

ヒトの大腸には、約1000種類、100兆個にも及ぶ腸内細菌が、菌種ごとの集団となって腸の壁に張り付くようにしています。腸内細菌はさまざまな代謝物をつくることにより、人の健康維持に関わり有用菌として働くだけでなく、がんや生活習慣病の発生にも関わるということが明らかになってきています。がん対策は進んでいますが、依然として日本人の生命を奪う最大の原因です。今回のセミナーでは、以下の4つの点に絞って解説させていただきます。1つ目は、腸内環境を中心にしたがん予防に向けた対策です。胃がんの原因はピロリ菌という細菌が原因です。大腸がん、肝臓がん、膵臓がんといった消化器系のがんは予防対策が遅れています。がん予防のために必要な4つのSについてまず説明します。2つ目は、働いている人の多くがお腹の症状でQOLが低下している現状がわかってきました。私たち

の提唱する「ガットフレイル」について説明させていただきます。3つ目は、腸内環境を考慮した食について説明します。京丹後長寿コホート研究やヒトコホート研究の成果をもとに、健康な老化を目標にどういった食事が必要かを5つのPについて説明します。最後に、健康長寿の重要な因子である運動についても説明します。運動や身体活動を維持することによる健康効果の一部は腸内細菌依存性であることを示し、さらには運動と組み合わせる食事についても説明したいと考えています。2025年6月に京丹後市で開催した「第1回世界長寿サミット」についても紹介させていただきます。

参考図書：「健康の土台をつくる腸内細菌の科学」
日経BP 東京 2024年



経歴	1983年	京都市立医科大学卒業
	1983年	京都市立医科大学附属病院研修医、第一内科勤務
	1998年	京都市立医科大学助手、第一内科学教室勤務
	2000年	京都市立医科大学助手、京都府知事公室職員課参事
	2001年	米国ルイジアナ州立大学医学部分子細胞生理学教室客員教授
	2009年	京都市立医科大学大学院医学研究科消化器内科学 准教授
	2015年	京都市立医科大学附属病院内視鏡・超音波診療部部長
	2021年	京都市立医科大学大学院生体免疫栄養学講座 教授
受賞歴	平成24年	内閣総理大臣表彰第4回ものづくり日本大賞優秀賞「予防医療での用途開発が進む抗酸化物質アスタキサンチンの高度な製造技術開発と製品化」
	平成28年	日本酸化ストレス学会学会賞
	令和5年	第5回日本オープンイノベーション大賞選考委員会特別賞「日本人腸内細菌叢データベースを活用した腸内環境評価システムの開発と検査サービスの事業化」内閣府
	令和5年	2023年度グッドデザイン賞「腸内環境評価システムの開発「Flora Scan®」」公益財団法人日本デザイン振興会
	令和6年	第23回杉田玄白賞「食・腸内環境を標的にし、パーソナルヘルスレコード（PHR）を利用した健康長寿戦略に関する研究」福井県小浜市



伊藤園はMLBのオフィシャルスポンサーです。



いつの日も、
僕のそばには
お茶がある。



MLB PLAYERS, INC. の公式ライセンス

MLBPAの商標、著作権作品、およびその他の知的財産権はMLBPAが所有または保有しており、MLBPAまたはMLB PLAYERS, INC.の書面による許可なしに使用することはできません。詳細はMLBPLAYERS.com(プレイヤーズ チョイス公式サイト)をご覧ください。

メジャーリーグベースボールの商標及び著作権は、メジャーリーグベースボールの許可に基づいて使用しています。詳しくはMLB.comを参照ください。

一時的な精神的ストレスがかかる状況での

ストレス緩和 睡眠の質向上

ヤクルト史上最高密度の「乳酸菌 シロタ株」を含んでいます。



宅配商品

機能性表示食品
(製品・成分評価)

〈乳製品乳酸菌飲料〉100ml

届出表示：本品には乳酸菌シロタ株(L. カゼイYIT 9029)が含まれるので、一時的な精神的ストレスがかかる状況でのストレスをやわらげ、また、睡眠の質(眠りの深さ、すっきりとした目覚め)を高める機能があります。さらに、乳酸菌シロタ株(L. カゼイYIT 9029)には、腸内環境を改善する機能があることが報告されています。

●食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。●本品は、疾病の診断、治療、予防を目的としたものではありません。●本品は国の許可を受けたものではありません。

中央静岡ヤクルト販売株式会社

〒420-0913 静岡市葵区瀬名川3-3-43

【お気軽にお問合せ下さい】 ☎ 0120-86-8960

受付時間8:30~16:45(土日・祝日・年末年始を除く)

配送手数料 無料 /
WEBからのお申し込みは

ヤクルト届けてネット

検索



人も地球も健康に

Yakult

荷主様のパートナー企業を目指して・・・
陸・海・空 総合物流のコーディネーター



清和海運 株式会社

本社 静岡市駿河区森下町1-35 静岡MYタワー2・3階
TEL : 054-288-2741 (代表) FAX : 054-288-2780
HP URL : [//www.seiwa-kaiun.co.jp](http://www.seiwa-kaiun.co.jp)

【国内】

静岡・浜松・掛川・山梨（南部町）・川崎・東京

【海外】

SEIWA PIONEER LOGISTICS CO., LTD. (タイ/バンコク)

SEIWA KAIUN (VIETNAM) CO., LTD. (ベトナム/ホーチミン)

SEIWA INTERNATIONAL LOGISTICS (SHANGHAI) CO., LTD. (中国/上海)

SEIWA INTERNATIONAL LOGISTICS (SHANGHAI) CO., LTD. SHENZHEN BRANCH (中国/深圳)

SEIWA KAIUN (H. K) CO., LTD. (香港)

PT. SEIWA LOGISTICS INDONESIA (インドネシア/ジャカルタ)

SEIWA KAIUN PHILIPPINES INC. (フィリピン/マニラ)

杏林堂薬局は、静岡県の
健康寿命延伸
に貢献します

薬剤師
ビューティースタッフ
管理栄養士
医薬品登録販売者

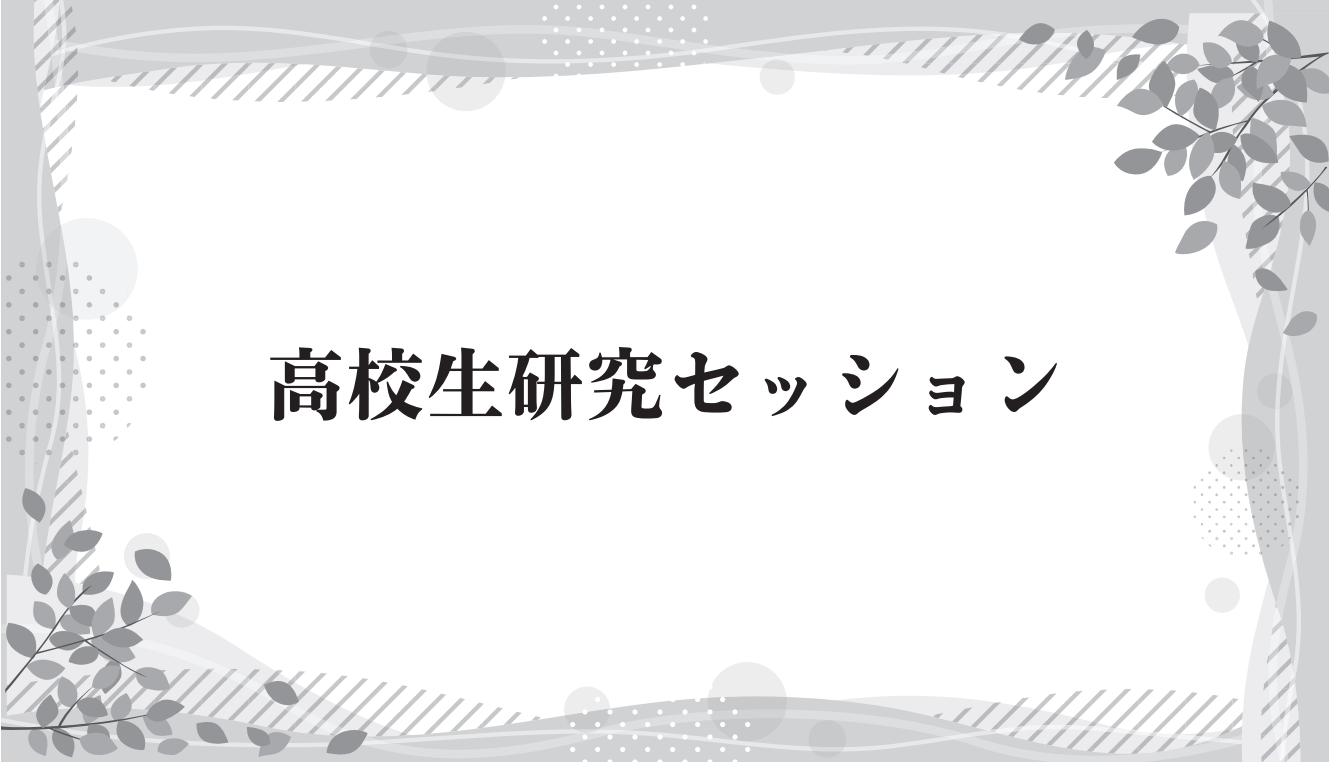


株式会社杏林堂薬局
☎053-453-2333(人財採用教育部)

430-7713
静岡県浜松市中央区板屋町111-2 採用HPはこちらから
浜松アクトタワー13階



会場：13402講義室、13403-2会議室、13408・13409演習室、13413・13414演習室



高校生研究セッション

高校生研究セッション参加者一覧

No	学校名	グループ等の名称	氏名・学年	グループ分け	発表タイトル
1	静岡県立天竜高等学校 二俣校舎	天竜高校 ボランティア部	渡邊 愛里（2年）、川上 暖人（2年）、 片岡 恢威（2年）、西山 花音（1年）、 本多 心春（1年）	D	「文化財×まちづくり」 ～旧田代家住宅と天竜高校生の挑戦～
2		天竜ラボ	山崎 柚奈（3年）、後藤 聡汰（3年）、 中澤 棕（3年）、氏原 那月（1年）	B	ていざなす♡魅力発信プロジェクト！地域を 元気にする魔法の腸活♡
3	静岡県立駿河総合高等学校	エネルギーピッチ	武内 琉位（3年）、鍋島 陽（3年）、 金崎 蒼輝（3年）、田中 大翔（3年）	C	原子力発電×再生可能エネルギー ～エネルギーミックスがもたらす2050年の姿～
4	静岡県立清水東高等学校	清水東高校2年理数科 1班	今井 魁人（2年）、見城 翔斗（2年）、 梅原 蓮士（2年）	C	液性による水飛沫の形状の変化についての考 察
5		清水東高校2年理数科 2班	鈴木 琥珀（2年）、加藤 斗和（2年）、 竹内 凜（2年）、伊豆川 巧真（2年）、 中村 鷹臣（2年）	A	橋とハニカム構造
6		清水東高校2年理数科 3班	水野 瑛太（2年）、森下 息吹（2年）、 辻 廉人（2年）	B	ソフトテニスの「吹く」現象について
7		清水東高校2年理数科 5班	泉 音羽（2年）、内山 淑伶（2年）、 澤口 芽依（2年）、中山 結菜（2年）、 水野 円馨（2年）	D	フラクタル図形が生み出す植物へのサンシー ルド
8		清水東高校2年理数科 6班	久保 奏翔（2年）、稲葉 昂也（2年）、 武田 大和（2年）	C	沈殿生成反応を利用したリン酸イオン、アン モニウムイオン処理の研究
9		清水東高校2年理数科 7班	本村 陽希（2年）、大和田 絢斗（2年）、 岡田 凜香（2年）、牛田 夏希（2年）	B	過酢酸を用いた消毒効果の研究
10		清水東高校2年理数科 8班	鈴木 那津（2年）、辻 日桜里（2年）、 保坂 梓沙（2年）、山本 舜（2年）、 一ノ瀬 浩太（2年）	A	微生物電池の発電効率の向上
11	城南静岡高等学校	城南静岡高等学校	萩 滉太郎（2年）	B	1型糖尿病患者にとって救世主となる外国米 はあるのか。
12	静岡市立高等学校	静岡市立高等学校 科学探求科	榊原 幸歩（2年）、村松 環（2年）	B	リモネンの抗菌効果を高める
13	静岡県立富士宮北高等学校	富士宮北高等学校	平野 真央（2年）	D	人とのネットワーク ～アサギマダラからはじまった～
14	静岡県立科学技術高等学校	科技高 理工科	渡邊 留衣（3年）、市川 美琴（3年）、 松永 莉実（3年）	A	土壌による野菜の成長の変化
15		科学技術高校 自然科学部	鈴木 琉加（3年）、戸井口 卓磨（3年）	B	塩基性条件下でのグルコースの低温褐変現象
16	静岡県立掛川西高等学校	掛川西高校 自然科学部 逆川班	小原 ルシアス（1年）、 宇田川 凌大（1年）、中脇 光翔（1年）	A	掛川市逆川の水質・生態系の現状
17		掛川西高校 自然科学部 墨汁班	瀨美 直樹（1年）、加藤 彰一（1年）、 瀧 厚人（1年）、土屋 隼人（1年）	C	服についた墨を取るう
18	静岡県立榛原高等学校	Beach Boys	白石 雄太郎（2年）、沖田 陽悠（2年）、 大久保 吏皇（2年）、村松 翼（2年）、 澤入 颯汰（1年）、石川 陽舵（1年）	D	海の活性化を求めて
19		ESTH -探求家-	小田 朋世（2年）、河村 愛叶（2年）、 八木 日葵（2年）、田原 志笑（2年）	C	人間関係とストレスの関わりについて
20	学校法人静岡理工科大学 星陵高等学校	星陵ラボ カゼインプラスチック班	安藤 舜聖（2年）、杉山 来瑠己（2年）、 相澤 優羽（2年）、今井 優宇（2年）、 渡辺 大芽（1年）	D	食品ロス削減を目指したカゼインの研究
21		星陵ラボ 航空工学班	吉岡 樹生（1年）、佐野 公紀（1年）、 畔柳 柚輝（1年）	A	フィンの形状による飛行姿勢の変化
22		星陵ラボ EPT班	渡邊 葵（2年）、須磨 あかり（2年）	D	金融教育
計	10校、22団体				
Aグループ：二又 裕之コメンテーター（静岡大学） Bグループ：杉本 健コメンテーター（浜松医科大学） Cグループ：八田 太一コメンテーター（静岡社会健康医学大学院大学） Dグループ：細川 光洋コメンテーター（静岡県立大学）					

（参加者は都合により変更になる場合があります。）

No. 1	
発 表 タ イ ト ル	「文化財×まちづくり」～旧田代家住宅と天竜高校生の挑戦～
学 校 名	静岡県立天竜高等学校 二俣校舎
グループ等の名称	天竜高校ボランティア部
参加生徒名(学年)	渡邊 愛里（2年）、川上 暖人（2年）、片岡 恢威（2年）、西山 花音（1年）、本多 心春（1年）
発表内容の要旨	昨年度、天竜高校ボランティア部では浜松市中山間地域振興計画の重点方針「地域をプロモーションする」主要政策のうち「歴史的・文化的遺産を活用した地域づくり」の一環として、高校生による「旧田代家プロデュース活動」を計画・実践することで、地域の歴史や文化を地域活性化に活かし、まちづくり計画の策定に参画することを目標として活動した。今年度は、“「文化財×まちづくり」で地域活性化に貢献！”を目標に、旧田代家住宅の価値を、イベントや商品を通じて地域の人に再確認してもらい、その成果を多くの人に発信していくことで、地域に貢献していきたいと思っている。昨年度のイベントをどのように改良したか、新商品の開発は効果があったか、新たなイベントとしてどのようなアイデアを提案できるか、行政や大学との連携を通して地域の文化財を高校生がプロデュースした具体例を発表する。

No. 2	
発 表 タ イ ト ル	ていざなす♡魅力発信プロジェクト！地域を元気にする魔法の腸活♡
学 校 名	静岡県立天竜高等学校 二俣校舎
グループ等の名称	天竜ラボ
参加生徒名(学年)	山崎 柚奈（3年）、後藤 聡汰（3年）、中澤 椋（3年）、氏原 那月（1年）
発表内容の要旨	本発表では、長野県天龍村の伝統野菜「ていざなす」を題材に、中山間地域における新たな地域活性化の可能性を探る。 ていざなすは、その独特の形状と味わいから、地域で大切に受け継がれてきた文化的な資源である。また、なすは食物繊維が豊富であるが、ていざなすは一般的ななすに比べ水分量も多い。天龍村の豊かな自然環境（清らかな水、澄んだ空気）で育まれる「健康的な野菜」としてブランド化する戦略を提案する。 具体的な活動として、若者が中心となって「ていざなす」のブランディングや、手軽に楽しめる新商品の企画・開発を行うことを想定している。若い世代が地域を越えて、伝統野菜に誇りを持ち、地域の魅力を全国に発信していくことを目指す。 この発表を通じて、地域に眠る伝統野菜の価値を再発見し、中山間地域の自然と食を結びつけることで、持続可能な地域振興モデルを構築するきっかけとしたい。

No. 3	
発 表 タ イ ト ル	原子力発電×再生可能エネルギー～エネルギーミックスがもたらす2050年の姿～
学 校 名	静岡県立駿河総合高等学校
グループ等の名称	エネルギーピッチ
参加生徒名(学年)	武内 琉位（3年）、鍋島 陽（3年）、金崎 蒼輝（3年）、田中 大翔（3年）
発表内容の要旨	人口減少に伴い、日本全体のエネルギーの使用量が減少すると考えられる。しかし実際は、AIの普及によりデータセンターの利用が増加することで、エネルギーの利用は増加の一途をたどっている。今後、需要電力量が増加し続けると考えれば、現在の発電方法で電力を賄うことは難しい。これを踏まえると、原子力発電や再生可能エネルギーの普及が進むことが望ましい。 しかし、そう簡単には普及ができない。なぜなら、原発事故や環境汚染などの問題により反対する人が多いからだ。実際に私たちが行ったアンケート調査でも、168人のうち約半数の人が、こういった理由で反対の意見を示していた。この結果から、普及には人々の意識の改善が最も重要であるとわかった。 そこで私たちは、人々の意識を変えるために何が必要なのか考えた。それは新聞とSNSの活用だ。若者と高齢者では情報を得るための媒体が異なるため、これら2つの媒体が必要だと考えた。これらを通して原子力発電や再生可能エネルギーの利点や魅力を発信していけば、普及につながっていくに違いない。

No.4	
発 表 タ イ ト ル	液性による水飛沫の形状の変化についての考察
学 校 名	静岡県立清水東高等学校
グループ等の名称	清水東高校2年理数科1班
参加生徒名(学年)	今井 魁人(2年)、見城 翔斗(2年)、梅原 蓮士(2年)
発表内容の要旨	私たちは物体を水面に落下させた際に発生する水飛沫の形状や高さについて興味を持ち、何がそれらを変化させる要因であるのかを考察していこうと考えました。先行研究では物体に着目して落とす高さに着目して相関性を研究していました。そこで我々はビーカー内の水溶液の状態に着目し、飛沫の変化にどのように影響しているのかを調べるために水溶液の濃度、粘度、温度、表面張力との関係を研究することにしました。今後はこの本実験の結果を解析していくなかで、物体が液面に衝突した際の音の波形や運動エネルギーなどと結びつけて、液性が飛沫の形状変化にあたえる影響について考察し、さらに試行回数を増やすとともに条件を組み合わせで比較し、形状変化に関与する要因についてより深く考えていきたいです。

No.5	
発 表 タ イ ト ル	橋とハニカム構造
学 校 名	静岡県立清水東高等学校
グループ等の名称	清水東高校2年理数科2班
参加生徒名(学年)	鈴木 琥珀(2年)、加藤 斗和(2年)、竹内 凜(2年)、伊豆川 巧真(2年)、中村 鷹臣(2年)
発表内容の要旨	私たちは、ハニカム構造が衝撃や荷重などの強度について優れている構造だということを知りました。現代の橋には様々な構造が採用されていますが、ハニカム構造を用いた橋はあまり見ません。そこで、どのようにハニカム構造を用いれば橋の強度を高めることができるのかを研究しようと思いました。 予備実験として、三角形の形状による耐久性を比較し、トラス構造を用いた橋を作り、おもりを吊るすことで橋の耐久性を調べました。本実験では、六角形の耐久性を調べ、ハニカム構造の適性を調べます。そして、研究結果を基に、既存の橋にハニカム構造を用いた新たな構造を考案及び作成し、ハニカム構造の組み合わせ方による橋の強度の違いをまとめることでトラス構造や従来の橋と比較して、より強い橋の条件を研究していきたいです。

No.6	
発 表 タ イ ト ル	ソフトテニスの「吹く」現象について
学 校 名	静岡県立清水東高等学校
グループ等の名称	清水東高校2年理数科3班
参加生徒名(学年)	水野 瑛太(2年)、森下 息吹(2年)、辻 廉人(2年)
発表内容の要旨	進行方向に向かうように前方が下に、後方が上に動くように回転(順回転)している球体が飛翔する時、回転していない時に比べ早く落下に転じる。しかし、ソフトテニスにおいて、順回転をかけているにもかかわらず、球が浮き上がっているように見えることがある。これを「ふく」現象という。 本研究の目的は「ふく」が発生するメカニズムを解明することである。そこで、ハイスピードカメラを用い、「ふく」が発生している場合と発生していない場合について、それぞれ様々な角度から撮影し、ラケット上でのボールの様子や飛翔中のボールの様子を観察した。その結果、飛翔中の球は正面から見て楕円、側面から見て正円になるような変形をしていることが確認できた。今後はこの変形が起こる原因を明らかにするために、ラケットに球が張り付く時間や、ラケットから球が離れた直後の変形に着目して研究を進めていきたい。

No. 7	
発 表 タ イ ト ル	フラクタル図形が生み出す植物へのサンシールド
学 校 名	静岡県立清水東高等学校
グループ等の名称	清水東高校2年理数科5班
参加生徒名(学年)	泉 音羽(2年)、内山 淑伶(2年)、澤口 芽依(2年)、中山 結菜(2年)、水野 円馨(2年)
発表内容の要旨	私たちはフラクタル日除けについて実験をしています。フラクタル日除けは、方向によって日を遮るが、風通しは良いという特徴を持っています。そこで、この性質が植物の日焼け対策に適しているのではないかと考えました。1日の中で1番日光が強い時間帯の光を遮り、それ以外の時間では光を当てる構造にすることで、植物の生育に必要な条件を満たしつつ、葉の日焼けを防ぐことができると思っています。 また、光を遮ることができるかを影の割合で判断することにしました。影の割合を導き出すことができるツールを作成し、フラクタル図形以外で似たような性質を持つ図形がないか考えています。このツールは実験の際に葉の日焼けの割合を導き出すことにも利用できるのではないかと考えています。これからの実験では実際に植物とフラクタル図形などを用いて葉の日焼け対策を行っていき、フラクタル図形の用途を広げられるかを検討していきたいです。

No. 8	
発 表 タ イ ト ル	沈殿生成反応を利用したリン酸イオン、アンモニウムイオン処理の研究
学 校 名	静岡県立清水東高等学校
グループ等の名称	清水東高校2年理数科6班
参加生徒名(学年)	久保 奏翔(2年)、稲葉 昂也(2年)、武田 大和(2年)
発表内容の要旨	私たちの班では、水質悪化の主要因であるリン酸イオンおよびアンモニウムイオンの同時除去を目的とし、錯体生成反応を利用した簡易で効率的な浄化手法の研究を行っています。予備実験として未知のリン酸イオンの濃度を測定するために、モリブデンブルー法を利用し吸光度と濃度に関する計量線の作成を行いました。今後、予備実験としてアンモニウムイオンの濃度の測定方法の確立・計量線の作成を行う予定です。また本実験にあたる錯体生成反応を利用した水溶液中のリン酸／アンモニウムイオンを除去する実験を行っていきます。先にも挙げた通り、最終的な目標は同一溶液中に存在するリン酸イオンとアンモニウムイオンを簡易かつ効率的に同時除去する方法を確立することです。 現時点では錯体生成反応に着目し目標達成を目指していますが、今後の研究結果によらず、目標達成のためそのほかの除去方法についても思案していくつもりです。

No. 9	
発 表 タ イ ト ル	過酢酸を用いた消毒効果の研究
学 校 名	静岡県立清水東高等学校
グループ等の名称	清水東高校2年理数科7班
参加生徒名(学年)	本村 陽希(2年)、大和田 絢斗(2年)、岡田 凛香(2年)、牛田 夏希(2年)
発表内容の要旨	本研究では、強力な殺菌力を持つ一方で揮発性が高く、取り扱いに課題のある過酢酸($\text{CH}_3\text{CO}_3\text{H}$)を対象に、殺菌・消毒剤としての利便性と効果を向上させる方法を検討する。予備実験では、納豆菌を用いて寒天培地による培養条件の最適化を行い、寒天濃度、栄養分、塗布量、塗布方法および器具の選定を通じて、安定した菌の培養環境を構築した。今後の本実験では、過酢酸の濃度および菌への接触時間の違いによる殺菌・消毒効果の変化を定量的に評価する。さらに、殺菌効率の最大化を目指し、過酢酸の物理化学的性質と殺菌メカニズムの関連性についても考察を加える。これらの検証を通じて、過酢酸の安全かつ効果的な応用条件を明らかにすることを目的とする。

No.10	
発 表 タ イ ト ル	微生物電池の発電効率の向上
学 校 名	静岡県立清水東高等学校
グループ等の名称	清水東高校2年理数科8班
参加生徒名(学年)	鈴木 那津(2年)、辻 日桜里(2年)、保坂 梓沙(2年)、山本 舜(2年)、 一ノ瀬 浩太(2年)
発表内容の要旨	私たちは微生物電池の実用化を目指すために発電効率を向上させることを目標とし、3つの条件に焦点を当てて実験しています。①塩分濃度について、②電極の周りの微生物の住む環境について、③電極である銅板の大きさについてです。①ではイオン数が多い方が電気を通しやすくなり発電量が多くなると思われる一方、高い塩分濃度は微生物の死滅につながり逆に発電量が減ると考え、最適な濃度を求めることを目的としています。②では、電極の周りの微生物の数が多い方が電子の受け渡しがスムーズになり、発電量が増えるのではないかと考えたため、より良い物質または構造を見つけることを目指しています。③では電極の大きさが発電量に影響するのかを調べることを目的とし、電極が大きい方が微生物との接触面積が増えるため発電量が高くなると予想しています。まだ十分な実験結果が出ていませんが、実験を継続しより良い発電の最適な条件を見出していきたいと思います。

No.11	
発 表 タ イ ト ル	1型糖尿病患者にとって救世主となる外国米はあるのか。
学 校 名	城南静岡高等学校
グループ等の名称	城南静岡高等学校
参加生徒名(学年)	萩 滉太郎(2年)
発表内容の要旨	私の罹患している1型糖尿病は、血糖のコントロールができない。血糖の変動は食事をしたときのみだけでなく、日常的に変化を気にしながら生活を送らないとならない。血糖の調節には補食も必要である。そんな時に急に起こった米の高騰。日本米の在庫がない中でも店頭に並んでいた外国米。よく補食としてごはんを食べるが、外国米も日本米と同じように補食として選択できないかと調べてみた。 炊いたごはん(温かいもの、冷やしたもの)2種類を50gずつ準備。食後30分後の血糖値の変動をグラフにまとめた。米は、バスマティ米、ジャスミン米、カルローズ、バレンシア米、国産カルナローリ、国産おこわ、国産十穀米、備蓄米。今回の調査では、血糖値の上がりに特徴があるような米は見つけられなかった。しかし、米それぞれには味、食感に違いがあり、アミロース、アミロペクチンの割合によって、日本米に近い食感かそうでないかが分かれることを知った。食感と米の価格の比較により、日本米が手に入らないときの救世主は「カルローズ」であると結論付けた。

No.12	
発 表 タ イ ト ル	リモネンの抗菌効果を高める
学 校 名	静岡市立高等学校
グループ等の名称	静岡市立高等学校 科学探究科
参加生徒名(学年)	榊原 幸歩(2年)、村松 環(2年)
発表内容の要旨	現在、日本では多くの食品廃棄物が発生している。そのため食品廃棄物を利用する方法を考え、レモンの皮の抗菌物質に注目した。レモンの皮に多く含まれる抗菌物質であるリモネンの抗菌効果を高め、レモンの皮の抗菌効果を高めたいと考えた。先行研究により、クエン酸は大腸菌に対してはリモネンと混ぜることで抗菌効果を高める相乗効果があることが分かっている。しかし、黄色ブドウ球菌に対して相乗効果を発揮するのは分かっていることから、黄色ブドウ球菌に対して抗菌効果を高める方法を探ることにした。実験ではレモンとリモネン単体に加え、それぞれクエン酸、エタノール、界面活性剤を混ぜたものの抗菌効果を調べた。その結果、レモンは単体と比べ、クエン酸、エタノール、界面活性剤を混ぜたほうが抗菌効果が高まることが分かった。また、リモネンもクエン酸、界面活性剤を混ぜたときには単体と比べて抗菌効果が高まったが、エタノールと混ぜたときは効果が低かった。更に様々な添加物について実験を行いたい。

No.13	
発 表 タ イ ト ル	人とのネットワーク～アサギマダラからはじまった～
学 校 名	静岡県立富士宮北高等学校
グループ等の名称	富士宮北高等学校
参加生徒名(学年)	平野 真央（2年）
発表内容の要旨	私は小5で知人のご夫妻が講師として来ていた授業で最長2000km海を渡って旅をするアサギマダラを知りました。富士山でのマーキングにその方々に誘っていただき、私がマーキングした蝶が徳島県で発見されたことをきっかけに興味を持ちました。小5から中3まで総合学習と自由研究で継続的に取り組みました。さらにご夫妻に自分の思いを伝え、小5のときに願った耕作放棄地を活用して食草を植え、蝶の楽園を作る夢が実現に近づき、多くの方々の協力で地元にはバタフライガーデンができました。蝶にも人にも憩いの場となりました。アサギマダラを通じて私は多くの人と出会い、貴重な体験もしました。生き物をきっかけに自分の世界が広がることを知ってもらいたいです。また、活動に関心を持った方には、ぜひ足を運んでほしいです。

No.14	
発 表 タ イ ト ル	土壌による野菜の成長の変化
学 校 名	静岡県立科学技術高等学校
グループ等の名称	科技高 理工科
参加生徒名(学年)	渡邊 留衣（3年）、市川 美琴（3年）、松永 莉実（3年）
発表内容の要旨	私たちは「土壌による野菜の成長の変化」をテーマに、水菜とラディッシュを4種類の土壌（山、田んぼ、砂、市販）で30日間育成し、発芽や収穫の有無を調べました。その結果、水菜は田んぼを除く3種類で発芽し、ラディッシュはすべてで発芽、収穫が可能でした。加えて、各土壌の保水性とpHを測定し、保水性は、市販＞田んぼ＞山＞砂となり、pHは市販が中性、山は弱酸性、砂、田んぼは塩基性でした。さらにpHを変えた水耕栽培実験では、pHが高い土ほど発芽が早い傾向が見られました。この結果から、pH6～8で保水性が高い土壌がラディッシュの生育に最も適していると考えました。また、保水性が栄養保持にも影響するため、栄養の少ない山や砂では、成長が不十分であると推測されます。今後は、pHや栄養素の影響について、さらに詳細な実験を行い、仮説の検証を進めていきたいと考えています。

No.15	
発 表 タ イ ト ル	塩基性条件下でのグルコースの低温褐変現象
学 校 名	静岡県立科学技術高等学校
グループ等の名称	科学技術高校 自然科学部
参加生徒名(学年)	鈴木 琉加（3年）、戸井口 卓磨（3年）
発表内容の要旨	私達は、水酸化ナトリウムとグルコースの混合溶液が褐変する反応について研究した。この反応は、カラメル化反応とよく似ているが100℃以下で反応するという特徴を持っている。そのためこの反応の仕組みを解明することを目指した。まず、グルコースをスクロースに変えて実験をした。すると、スクロースは褐変しなかった。このことから、グルコースの還元性が反応に関係していると考えた。次に、水酸化ナトリウムとグルコースの量を変えて実験をした。するとグルコースが水酸化ナトリウムに対して多すぎると遅くなるとわかった。さらに、滴定によってグルコースと水酸化ナトリウムが1：1.4で反応するとわかった。しかし、水溶液中で鎖状グルコースは2つのアルデヒド基をもち、アルデヒド基は水酸化ナトリウムと1：1で反応する性質がある。理論上の1：2の反応比よりも小さいことから、一部のアルデヒド基は付加反応に使われたと考えた。

No.16	
発 表 タ イ ト ル	掛川市逆川の水質・生態系の現状
学 校 名	静岡県立掛川西高等学校
グループ等の名称	掛川西高校 自然科学部 逆川班
参加生徒名(学年)	小原 ルシアス（１年）、宇田川 凌大（１年）、中脇 光翔（１年）
発表内容の要旨	掛川市を流れる逆川の水質・生態系の改善の方法を提案するために研究を始めた。その過程で、この夏は現状がどのようなものを把握することを主目的とした。 逆川の上流、中流、下流の３か所について、２つの調査を行った。パックテストを用いてCOD、アンモニウム態窒素、亜硝酸態窒素、硝酸態窒素、リン酸態リンの５つの値を測定した。また、タモ網により生物を採取し、種と個体数を記録した。 調査の結果、水質に関してCODは共通して高かった。一方で、各区域で違いも見られた。生態調査では、上流ほど豊かであり、魚類も複数発見された。

No.17	
発 表 タ イ ト ル	服についた墨を取ろう
学 校 名	静岡県立掛川西高等学校
グループ等の名称	掛川西高校 自然科学部 墨汁班
参加生徒名(学年)	渥美 直樹（１年）、加藤 彰一（１年）、瀧 厚人（１年）、土屋 隼人（１年）
発表内容の要旨	制服に１度墨がついてしまうと、なかなか落とすことができない。その理由を明らかにし、墨の汚れを取り除く方法の発見を目的とした。 実験は４つ行い、墨と煤の取れやすさの比較、塩析の効果の検証、墨のついた布の燃焼、超音波洗浄機の有効性について調べた。墨はにかわと煤の混合物であるため、どちらが原因になっているかに実験を通して着目した。 実験から、墨よりも煤の方が汚れが取れやすいこと、塩析は墨汁には変化を起こすが、布についてからは効果がないことが示唆された。各実験について、にかわ、煤のどちらが原因であるかまでは明らかにできなかった。今後は、電子顕微鏡を用いて、汚れの状態を観察し、墨が布につく現象の詳細な理解につなげていきたいと考えている。

No.18	
発 表 タ イ ト ル	海の活性化を求めて
学 校 名	静岡県立榛原高等学校
グループ等の名称	Beach Boys
参加生徒名(学年)	白石 雄太郎（２年）、沖田 陽悠（２年）、大久保 吏皇（２年）、村松 翼（２年）、澤入 颯汰（１年）、石川 陽舵（１年）
発表内容の要旨	私たちグローバル部は「地域と関わりながら、自分たちにとっても、意味のある探究活動を行う」ことを大切にしています。その中で、地域の魅力である「海」に注目し、海岸清掃や海岸で行うイベントを企画・運営するなど地域に貢献するプロジェクトを行っています。特に静波海岸は私たちにとって身近であり、地域の人々や観光客にとっても重要な場所です。そこで私たちは「Beach Boys」というチーム名で活動し、「静岡の広い海をきれいに、そして多くの人に知ってもらう」事をモットーに取り組んでいます。これまでにサーフィンの世界大会「御前崎Pro」の併設イベントであるティラノサウルスレースの運営や海岸清掃、サーフィン体験会の補助を行ってきました。海を守り、その魅力を広めるために、今後も積極的に挑戦していきます。

No.19	
発 表 タ イ ト ル	人間関係とストレスの関わりについて
学 校 名	静岡県立榛原高等学校
グループ等の名称	ESTH ー探究家ー
参加生徒名(学年)	小田 朋世（2年）、河村 愛叶（2年）、八木 日葵（2年）、田原 志笑（2年）
発表内容の要旨	私たちは「人間関係ごとのストレス発散の仕方の違い」をテーマに探究します。高校生活では、友達やクラスの人との関わりが毎日の生活に大きく関わっていて、時にはストレスの原因になったり、逆にストレスを解消するきっかけになったりします。そこで、全校生徒を対象にMBTIに基づくアンケートを行い、人との関わり方やストレス発散法についての情報を集めます。これらのデータをもとに、生活や関わり方によってストレスの感じ方や発散の方法にどんな違いがあるのかを考え、高校生にとって身近な人間関係について理解を深めたいです。この探究を通して、心の健康を守っていききたいと思います。

No.20	
発 表 タ イ ト ル	食品ロス削減を目指したカゼインの研究
学 校 名	学校法人静岡理工科大学星陵高等学校
グループ等の名称	星陵ラボ カゼインプラスチック班
参加生徒名(学年)	安藤 舜聖（2年）、杉山 来瑠己（2年）、相澤 優羽（2年）、今井 優宇（2年）、渡辺 大芽（1年）
発表内容の要旨	牛乳の廃棄問題は、食品ロスおよび環境負荷の観点から大きな課題となっている。本研究では、牛乳中の主要タンパク質であるカゼインに着目し、飲用以外の新たな利用法の可能性を探った。カゼインはホルムアルデヒドなどと反応してカゼインプラスチックと呼ばれる生分解性でない硬質物質を形成することが知られている。そこで、反応の条件を変えることで自然環境中で分解可能なプラスチック代替素材の開発につながると考えた。本研究は基礎的検討段階ではあるが、食品廃棄物の削減と持続可能な新素材開発を結びつける試みとして有用であると考えられる。

No.21	
発 表 タ イ ト ル	フィンの形状による飛行姿勢の変化
学 校 名	学校法人静岡理工科大学星陵高等学校
グループ等の名称	星陵ラボ 航空工学班
参加生徒名(学年)	吉岡 樹生（1年）、佐野 公紀（1年）、畔柳 柚輝（1年）
発表内容の要旨	本実験では、モデルロケットのフィン形状が機体の安定性および飛行姿勢に与える影響を調査する。使用するフィンは前進翼、後退翼、デルタ翼、台形翼、直進翼の五種とした。エンジンにはA8-3を採用する。 後退翼については、本班が通常用いている形状と同一であるため、比較の基準とすべく寸法を一部変更の上作製した。ノーズコーン内部の錘は、過去の実験結果に基づき全て8.6gとした。また、五種すべてのフィンの翼面積は10cm²に統一した。 実験は各フィン形状につき3回ずつ打ち上げを行い、得られたデータの平均をもって結果とした。

No.22	
発 表 タ イ ト ル	金融教育
学 校 名	学校法人静岡理工科大学星陵高等学校
グループ等の名称	星陵ラボ EPT班
参加生徒名(学年)	渡邊 葵(2年)、須磨 あかり(2年)
発表内容の要旨	私たちは、日本の金融教育の遅れを実感し、自分たちでできる取り組みとして小学生向けの金融教育動画を制作しました。動画では「お小遣いをどう使うか」「貯める・使う・増やすのバランス」といったテーマを、キャラクターや身近な例を使ってわかりやすく紹介しました。実際に制作する中で、金融の知識をどう伝えれば子どもに届くのを考えることは大きな学びでした。この体験から、金融教育は単なる知識の暗記ではなく、年齢に応じた実体験やシミュレーションを通して身につくものだとは強く感じました。日本の学校教育では金融を学ぶ時間がまだ少なく、また「お金の話はタブー」とされてきた文化もあり、生活に直結する力として学ぶ機会が限られています。だからこそ、私たちのような体験型の学びを取り入れることが必要です。金融教育を「早い時期から、楽しく、体験的に」行うことで、投資や資産形成への正しい理解が進み、社会全体の未来を支える力につながると考えています。

会員証
SHIZUOKA
静岡県薬剤師会
Shizuoka Pharmaceutical Association

静岡県の薬局・薬剤師

処方せんから、健康相談まで。
「困った」や「分からない」があったら、
なんでも聞いてください。

公益社団法人 静岡県薬剤師会

近くにいる、というアンシンを。

コメンテーター



二又 裕之 / 静岡大学理事・副学長

経歴	1997年3月	九州大学大学院農学研究科農芸化学専攻 博士（農学）
	1997年4月～2001年3月	海洋バイオテクノロジー釜石研究所ポスドク研究員
	2001年4月～2008年3月	豊橋科学技術大学エコロジー工学系 助手／助教 （2007年10月～2008年3月：米国南カリフォルニア大学 Visiting Researcher）
	2008年4月	静岡大学工学部物質工学科 准教授
	2013年4月	同上 教授
	2016年4月	静岡大学グリーン科学技術研究所 教授
	2024年4月	静岡大学 副学長
	2025年4月	静岡大学 理事・副学長

- 受賞歴
1. 独立行政法人日本学術振興会（Japan Society for the Promotion of Science）科学研究費助成事業第1段審査委員表彰 2013年
 2. 第22回日本生物工学論文賞 生物工学会 2014年
 3. 日本生物工学会中部支部例会 日本生物工学会中部支部長賞受賞 2016年
 4. 2018-ASM Outstanding Abstract Award. Kenshi Suzuki, Masahiro Honjo, Tomoka Nishimura, Kensei Masuda, Ayaka Minoura, Yosuke Tashiro, and Hiroyuki Futamata. Metabolic networks based on the substrate-spatiotemporal heterogeneity can organize co-existence of microbes 2018. June 7-11 Atlanta, USA.
 5. 生物工学会中部支部例会 優秀発表賞 2022年
 6. Best Presentation Award, in The organizers of Multidisciplinary English session: Wisdom of Microbial Life, Fundamentals and Applications. "The microbial coexistence and functional stability corresponding to flexible metabolic network in a synthetic microbial ecosystem." Kenshi Suzuki, Azwani Fatma, Masahiro Honjo, Kensei Masuda, Koki Amamo, Yosuke Tashiro, Hiroyuki Futamata. 日本微生物生態学会第33回大会 2019年
 7. Best Poster Presentation Award, The 15th Asian Symposium on Microbial Ecology, Takumi Higashi, and Hiroyuki Futamata. "Isolation of microorganisms involved with anaerobic propionate-degradation in a microbial fuel cell." 2025年
 8. 環境バイオテクノロジー学会 優秀ポスター発表賞 （三本麗華、岡田崇、齋藤保久、二又裕之）「微生物群集内コアメンバー間の相互作用変化が群集変遷を駆動する」2025年



杉本 健 / 浜松医科大学医学部 内科学第一講座

経歴	1993年3月26日	浜松医科大学医学部医学科卒業
	1993年6月1日	浜松医科大学第一内科研修医
	1994年6月1日	国立熱海病院内科研修医
	1995年6月1日	共立菊川病院内科医員
	1996年6月1日	藤枝市立総合病院消化器科医員
	2003年8月1日	米国ハーバード大学、Research Fellow（病理学講座）
	2008年6月1日	浜松医科大学内科学第一助教
	2011年2月1日	浜松医科大学第一内科講師
	2013年11月1日	浜松医科大学内科学第一准教授
	2021年4月1日	浜松医科大学内科学第一教授

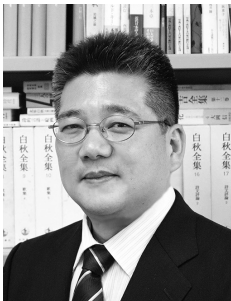
- 受賞歴
- | | |
|-------|--|
| 2005年 | Federation of Clinical Immunology Societies (FOCIS) Travel Award |
| 2006年 | Crohn's and Colitis Foundation of America (CCFA) Research Fellowship Award |
| 2010年 | 15th Hamamatsu University School of Medicine Alumni Association Academic Encouragement Award |
| 2019年 | Poster Tour, Digestive Disease Week (DDW) 2019 |

コメンテーター



八田 太一 / 静岡社会健康医学大学院大学 講師

経歴	2004年3月	早稲田大学 教育学部 理学科 生物学専修 卒業
	2006年3月	京都大学大学院 医学研究科（医科学） 修士課程修了
	2010年3月	京都大学大学院 医学研究科（医学） 博士課程 単位満了退学
	2010年4月－2014年3月	京都大学医学部附属病院 探索医療センター 教務補佐員
	2014年4月－2021年3月	京都大学 iPS細胞研究所 特定研究員／特定助教
	2019年2月	京都大学大学院 医学研究科（医学） 博士取得（論博）
	2021年4月－現在	静岡社会健康医学大学院大学 講師
受賞歴	2012年2月	優秀演題賞，日本臨床試験研究会
	2022年3月	最優秀研究賞，静岡社会健康医学大学院大学
	2022年8月	The MMIRA Dissertation Award, Mixed Methods International Research Association
	2023年3月	最優秀研究賞，静岡社会健康医学大学院大学



細川 光洋 / 静岡県立大学国際関係学部 教授・学部長

経歴	1994年	早稲田大学大学院教育学研究科修士課程修了（教育学修士）
	1994年	立教英国学院中学校・高等学校教諭
	1997年	桐蔭学園中学校・中等教育学校教諭
	2006年	高知工業高等専門学校総合科学科 准教授
	2015年	静岡県立大学国際関係学部国際言語文化学科 教授
	2025年	静岡県立大学国際関係学部学部長

専攻は、日本近代文学（吉井勇、谷崎潤一郎、寺田寅彦）、国語科教育法
県内では、「地域資源としての文学」をテーマに、中部エリアの文学館・美術館を巡る
「するが文化の散歩道」スタンプラリーの企画にゼミで取り組む
2023年より静岡県文化奨励賞選考委員会委員を務める

受賞歴	2012年	第31回寺田寅彦記念賞
	2022年	第20回前川佐美雄賞

県内4大学による特色ある取組の展示

(看護学部棟4階 エレベーターホール)

大学名	標題等	展示概要
静岡大学	グリーン社会の創成を目指して	本学には2つの研究所がありますが、その1つグリーン科学技術研究所を紹介します。本研究所は、世界的な環境悪化や地球温暖化へ対処するため、先端研究を融合させた学際的なアプローチを駆使し、科学技術の進化・深化を目指しています。本研究所における様々な研究を紹介します。
浜松医科大学	浜松医科大学・静岡大学 共同研究による消化管内視鏡AIの紹介	本学では、静岡大学と共同で、消化管内視鏡に人工知能（AI）を応用した研究を積極的に推進しています。現在、消化器癌や腫瘍を対象としたAI技術はすでに商品化が進みつつありますが、出血や炎症などの良性疾患を標的としたAIはまだ存在せず、臨床的な需要が高い分野です。本共同研究は、この未開拓領域に挑戦し、診断の効率化と精度向上を通じて患者の医療ニーズに応えることを目指しています。今回は、小腸疾患に焦点を当てた消化管カプセル内視鏡AIの最新研究成果を紹介します。
静岡県立大学	国際学生寮「富学寮」の紹介	キャンパス内のグローバル化の一環として、2022年4月に開寮した国際学生寮「富学寮」を紹介します。寮での共同生活を通じて、異なる文化や価値観にふれ、相互理解と国際交流の促進を目指しています。
	臨場感を生かした薬学教育用VRコンテンツ	本学で作成した医療面談やフィジカルアセスメントなどのバーチャル・リアリティ（VR）コンテンツを展示します。臨場感に富むVRコンテンツによる体験学習を、医療コミュニケーションやフィジカルアセスメント、臨床実務実習後のアドバンスト教育など、低学年から高学年までの実習・講義に積極的に取り入れ、高度化する薬剤師業務への対応力や実践的な知識を身に付けた医療人育成を目指します。
静岡社会健康医学大学院大学	「知と人材の拠点」から社会を健康に	「静岡多目的コホート研究事業」と「SKDB研究」の取組を紹介します。住民の詳細な健康調査や医療ビッグデータの活用を通じ、健康寿命延伸を目指しています。また研究成果を実装し、社会を健康にするための取組についても紹介します。

MEMO

■主催

静岡県立大学

○生涯健康サイエンスフェス運営委員会

委員長

渡邊 順子 静岡県立大学 副学長

副委員長

小林 公子 静岡県立大学 副学長

委員

眞鍋 敬 静岡県立大学 薬学研究院長

三浦 進司 静岡県立大学 食品栄養環境科学研究院長

飯野 勝己 静岡県立大学 国際関係学研究科長

竹下誠二郎 静岡県立大学 経営情報イノベーション研究科長

篁 宗一 静岡県立大学 看護学研究科長

林 恵嗣 静岡県立大学 短期大学部長

■協力

静岡大学、浜松医科大学、静岡社会健康医学大学院大学、静岡県教育委員会高校教育課

■協賛団体・企業（五十音順）

株式会社伊藤園 中央研究所

株式会社うさぎ薬局

株式会社杏林堂薬局

公益社団法人静岡県薬剤師会

清和海運株式会社

中央静岡ヤクルト販売株式会社

株式会社テクノサイエンス

株式会社マルハチ村松

有限会社ラヴィアンサンテ

未来を創ろう 県大サポーターズクラブ



静岡県立大学「おおぞら基金」へ大学支援の使途で1年間で
1口(10万円)以上のご寄附をいただいた法人様向けの制度です。

【寄附の特典】※口数により異なります

- ・学部棟への企業ロゴ等の掲出
- ・本学公式サイトでの企業名掲出
- ・企業説明会へのご招待
- ・はばたきのつどい(学生・教職員交流会)へのご招待
- ・2週間以内の期間でのPRブース設置 など

詳しくは本学公式サイトでご確認ください。

県大サポーターズクラブ



「日経キャリアマガジン特別編集 価値ある大学 就職力ランキング2025-2026」(日経HR発行)
新・就職力ランキング 中小規模大学版

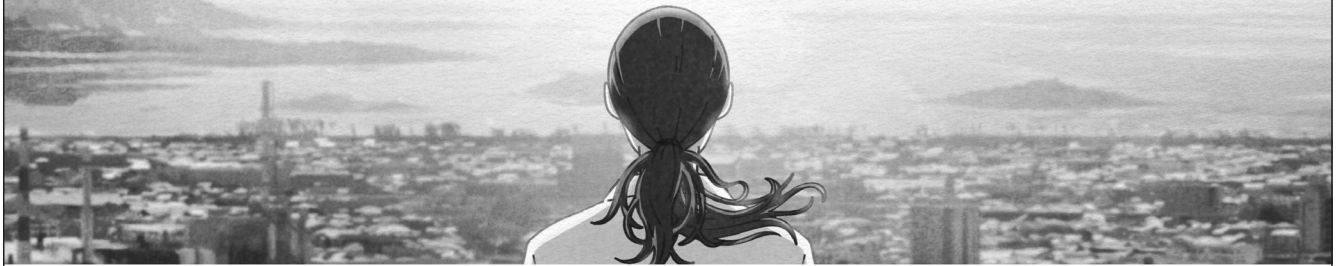
全国総合3位



←詳しくは本学公式サイト
からご確認ください。

うさぎ薬局は静岡県立大学の学生を応援しています。

— 地域の安心が 薬局の未来になる —



うさぎ薬局

うさぎ薬局の奨学金制度

最大 **576** 万円 最長 **6** 年間 支給!

日本トップクラスの薬学生向け奨学金
全国転勤などの条件もなく、所定の期間うさぎ薬局で働くことで全額返済免除

静岡を拠点に
44店舗!



生涯健康サイエンスフェスin静岡県立大学2025 メインセッションプログラム 兼 発表要旨集

2025年10月発行

編集・制作 生涯健康サイエンスフェス運営委員会（静岡県立大学）

〒422-8526 静岡県静岡市駿河区谷田52-1

TEL 054-264-5156 FAX 054-264-5299

発行 生涯健康サイエンスフェス運営委員会（静岡県立大学）

印刷所 池田屋印刷株式会社

落丁・乱丁はお取り替えいたします。